

## JENESYS2019ASEAN 派遣

### 東京・ジャカルタ姉妹友好都市交流 30 周年プログラムの記録 (派遣国：インドネシア)

#### 1. プログラム概要

都立高校生等 16 名が JENESYS2019 プログラムの一環として、7 月 29 日～8 月 7 日までインドネシアを訪問し、学校交流、文化体験・視察などを通じて、インドネシアの文化・社会に対する理解を深めるとともに、日本の魅力の発信等を行うプログラムに参加しました。東京・ジャカルタ姉妹友好都市交流 30 周年の節目に行われる今回のプログラムを通じて、インドネシアにおける対日理解の促進、日インドネシア間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化を目的として、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、今回の訪尼経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

#### 【参加者所属先・人数】

東京都立杉並総合高等学校 8 名

東京都立大島高等学校 8 名

#### 【交流時の日本事情の説明概要】

日本及び東京の概略説明、大島の郷土芸能の紹介（あしたば音頭）

日本の伝統文化、芸能の紹介（日本舞踊、折り紙、習字、落語）

#### 2. 日程

- 7 月 29 日（月） 【オリエンテーション】羽田国際空港より出国、ジャカルタのスカルノ・ハッタ国際空港到着
- 7 月 30 日（火） 【視察】 プラムカ島 ウジュン・クロン国立公園  
ウミガメ飼育槽、マングローブ植樹活動、  
【学校交流】 SMAN 69 Jakarta
- 7 月 31 日（水） 【表敬訪問】 ジャカルタ州政府  
【参観】 国家独立記念塔（モナス）  
【ブリーフィング】 JICA 「日本とインドネシアの関係に関して」  
【視察】 ジャカルタ都市高速鉄道（MRT 南北線）
- 8 月 01 日（木） 【学校交流】 SMK Mitra Industri MM2100  
【日系企業視察】 PT. Marubeni Indonesia（排水工場）
- 8 月 02 日（金） 【学校交流】 SMAN 70 Jakarta  
【日系企業視察】 P. T. SURYA TOTO INDONESIA
- 8 月 03 日（土） 【視察】 コタ地区  
【ホームステイ】 ホストファミリー対面式・ホームステイ

- 8月04日(日) 【ホームステイ】ホームステイ離面式  
 【参観】Setu Babakan
- 8月05日(月) 【ワークショップ】成果報告会準備  
 【日系企業視察】AEON MALL BSD CITY
- 8月06日(火) 【成果報告会】在インドネシア日本国大使館  
 【文化体験】テキスタイル博物館(バットェック染付体験)  
 インドネシア出国
- 8月07日(水) 帰国

### 3. プログラム記録写真

	
<p>7月30日【視察】プラムカ島        ウジュン・クロン国立公園 ウミガメ飼育槽</p>	<p>7月30日【視察】プラムカ島        ウジュン・クロン国立公園マングローブ植樹</p>
	
<p>7月30日【学校交流】SMAN 69 Jakarta</p>	<p>7月31日【表敬訪問】ジャカルタ州政府</p>
	
<p>7月31日【参観】        国家独立記念塔(モナス)</p>	<p>7月31日【ブリーフィング】JICA        「日本とインドネシアの関係に関して」</p>



7月31日【視察】JICA  
ジャカルタ都市高速鉄道（MRT 南北線）



8月1日【学校交流】  
SMK Mitra Industri MM2100



8月01日【日系企業視察】  
PT. Marubeni Indonesia（排水工場）



8月02日【学校交流】  
SMAN 70 Jakarta



8月02日【日系企業視察】  
P. T. SURYA TOTO INDONESIA



8月03日【視察】コタ地区



8月03日【ホームステイ】  
ホストファミリー対面式・ホームステイ



8月04日【ホームステイ】  
ホームステイ離面式

	
<p>8月04日【参観】Setu Babakan</p>	<p>8月05日【ワークショップ】 成果報告会準備</p>
	
<p>8月05日【日系企業視察】 AEON MALL BSD CITY</p>	<p>8月06日【成果報告会】① 在インドネシア日本国大使館</p>
	
<p>8月06日【成果報告会】② 在インドネシア日本国大使館</p>	<p>8月06日【文化体験】テキスタイル博物館 (バットック染付体験)</p>

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ 高校生（杉並総合高等学校）

今回のプログラムは本当に来てよかったと思えるものでした。インドネシアという国について知ると同時に、現地の人々の温かさにも触れることが出来、自分の視野がとても広がったと思います。特に英語でコミュニケーションを取れたことは、自分の日本での英語を勉強する上で大きなモチベーションにも繋がります。またインドネシア、ジャカルタの発展の仕方と日本の発展の仕方には共通点があると感じました。

##### ◆ 高校生（大島高等学校）

日本では住宅とオフィスビルが分かれているイメージがあるが、インドネシアのジャカルタでは戸建ての住宅と高層ビルが隣同士であった。またゴミがポイ捨てされている状況を見て、インドネシアの都市環境整備に貢献したいと感じました。インドネシアの方々の温かさに触れるたびに、何としても力になりたいという想いが強くなりました。

## ◆ 高校生(杉並総合高等学校)

私たちが発信した内容をインドネシアの方が知っていたり、知らなかったりと反応が様々でした。また、私たち日本人がインドネシアの人に伝えたいと整理して行ったこととインドネシア人が知りたいと思うことのギャップに驚きました。

## 5. 受入れ側の感想

### ◆交流した学生 (SMK Mitra Industri MM2100)

日本の学生と交流し、日本文化体験ができて、日本の文化について多くのことを知ることができました。そして今回の交流（ディスカッション）では、私の想像していた日本と日本の皆さんから聞いた日本が違い、日本に対してより一層の興味が湧きました。近い将来、日本へ渡航したいと考えることと今回の縁を基に日本の2校とも積極的に交流していきたい。

### ◆交流した学生 (SMAN70Jakarta)

もともと、空手のクラブに所属していることもあり、日本に対しては以前から興味があつた。折り紙を通じて日本の文化に触れる事も出来、とても有意義だった。中でも折  
り鶴を通して平和を願う心を共有できたことは一生の思い出だ。

### ◆ホームステイ受け入れ先の家族（父親）

日本の学生がホームステイで訪れた経験がなく、とても貴重な経験であった。1泊2日のホームステイは少し短く感じたが、いつものように生活している中に日本人学生がすぐ溶け込んでくれ、まるで私たちの息子・娘のように感じた。これからも機会があれば積極的に日本人のホームステイを受け入れてみたい。

## 6. 参加者の対外発信

 <p>The screenshot shows the school's website for the JENESYS 2019 Jakarta program. The page includes a navigation menu on the left with options like 'トップ', '校長から', '学校紹介', '学校生活', '学習について', '入学案内', '卒業後の進路', and '経営企画室から'. The main content area features a title 'JENESYS 2019 Jakarta program' and a detailed description of the program, including dates (July 29 to August 7) and the school's role as the host. It also mentions the program's focus on cultural exchange and international cooperation. At the bottom, there is contact information for the school.</p>	 <p>The Facebook post features a photo of a group of students in blue uniforms standing on a stage with a banner that says 'SELAMAT DATANG'. The text of the post describes the participant's experience of cultural exchange and learning about local life through the program. It mentions that they learned about the local students' lives and that the experience was very meaningful and valuable. The post also includes a 'いいね!' (Like) button and a 'コメント' (Comment) button.</p>
<p>JENESYS プログラムに参加し、インドネシアで広く日本の魅力を発信してきました。この経験を基に日インドネシアの架け橋へと成長したい。 (杉並総合高等学校ホームページ)</p>	<p>現地の高校と文化交流を行い、職業に直結した専門的な学習を見学し、同世代の子がどのような生活をしているかが知れとても有意義で貴重な経験となった。 (参加者 FACEBOOK より)</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>Presentation 1</p> <p>The friendship between Tokyo and Jakarta 30<sup>th</sup> anniversary of Jenesys program</p> 
<p>アクション・プランの発表</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 学園祭での今回の渡航経験の発表</li><li>② ユネスコスクール・プロジェクト・ネットワークを活用し、今回の経験の発表</li><li>③ 高校生環境小論文コンクールに今回の経験を題材にして応募</li></ul>
<p>プログラム実施言語：英語</p>

事業実施団体：株式会社 J T B